

## 10月初旬出荷キンギョソウの品種特性および露地適性評価

板橋優人・岡澤立夫\*  
(園芸技術科) \*現農振事

---

【要約】キンギョソウの10月初旬出荷作型においては、ポット出荷時及び露地定植後の総合評価が高かった「F<sub>1</sub> スナップショット オレンジ, キャンディートップス ローズ, スナップティーニ イエロー」が有望である。

---

### 【目的】

夏播き秋出荷作型でのキンギョソウは都内で生産量は少ないが、需要が高い。そこで、キンギョソウの8月初旬播き10月初旬出荷作型の出荷時および露地定植後の品種特性について調査し、本作型での有望な品種を明らかにする。

### 【方法】

2022年8月5日にキンギョソウ11品種(表1)を播種用培土(TM-2)で充填した288穴セルトレイに播種し、同年8月24日にガラスハウス内で3.5号黒ポリポットへ1本鉢上げした。鉢上げ用土は赤土:腐葉土:ピートモス=5:3:2(容積比)の混合用土とし、基肥は用土100Lあたり成分量でN=48g, P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>=152g, K<sub>2</sub>O=45gを予め施用した。追肥は9月12日, 22日に液肥(6-8-8)1000倍を100ml/鉢, 9月14日に固形肥料(16-9-12)を1g/鉢を行った。ポット出荷時の開花調査は10月7日に行った。露地への定植は10月11日に1区12株2反復の株間20cm条間20cmで行い、生育・開花特性調査を約2週間おき6回実施した。

### 【成果の概要】

1. 栽培期間中(8~12月)の平均気温, 降水量は概ね平年並みであった(データ略)。
2. ポット出荷時の株張は「F<sub>1</sub> ポップアップ スカーレット」で大きく, 株高は「スナップタスティック イエロー, キャンディートップス ローズ」が20cmを超え, 他品種より高くなった。花数は「F<sub>1</sub> スナップショット ピンク」で, 蕾数と側枝数は「スナップティーニ イエロー」が多かった。種苗審査時に入賞した品種は10月初旬での花数が他品種より多い傾向だった(表1)。
3. 定植後の株張は, 全品種順調に生育したが, 11月29日以降では「F<sub>1</sub> スナップショット オレンジ, F<sub>1</sub> スナップショット パープル」以外は生育が緩慢になった。一方, 株高は「スナップタスティック イエロー, キャンディートップス ローズ」がポット出荷時より全期間を通して他品種よりも高くなった(図1)。
4. 露地定植後の花数・花弁占有面積は「キャンディートップス ローズ, スナップタスティック イエロー」が安定して値が大きく, 露地適性が高い結果となった。一方, 「F<sub>1</sub> パレット ブロンズ」は11月中より花数・花弁占有面積が大きく減り露地適性は低かった(表2)。

### 【残された課題・成果の活用・留意点】

12月下旬時点で枯死した株はなく(データ略), 以降も生育・開花調査する必要がある。

表1 ポット出荷時の生育・開花特性

番号	品種	種苗会社 <sup>a</sup>	株張 (cm)	cv	株高 (cm)	cv	花数 (輪/株)	蕾数 (個/株) <sup>b</sup>	側枝数 (本/株) <sup>c</sup>	等級 <sup>d</sup>
1	F <sub>1</sub> スナップショット イエロー	ミ	18.3	8.5	17.7	9.1	3.8	3.8	12.2	
2	F <sub>1</sub> スナップショット オレンジ	ミ	17.4	10.0	18.5	5.9	5.6	2.7	10.1	III
3	F <sub>1</sub> スナップショット パープル	ミ	19.8	10.6	18.4	3.2	4.5	2.8	11.6	
4	F <sub>1</sub> スナップショット ピンク	ミ	19.7	7.6	17.0	7.6	8.3	1.6	10.7	
5	F <sub>1</sub> パレット ブロンズ	タ	15.1	11.4	16.0	8.6	4.7	2.4	10.1	
6	F <sub>1</sub> ポップアップ イエロー	タ	17.6	12.0	14.3	10.1	2.2	2.7	8.3	
7	F <sub>1</sub> ポップアップ スカーレット	タ	20.2	11.2	17.1	7.4	5.3	0.3	11.1	III
8	キャンディートップス ローズ	サ	16.4	10.1	22.9	5.3	5.8	1.6	8.0	I
9	スナップタスティック イエロー	FS	16.7	7.7	29.9	4.4	4.6	2.3	6.1	
10	スナップティーニ イエロー	FS	18.4	12.0	18.6	5.1	6.7	4.2	12.5	II
11	スナップティーニ スカーレット	FS	19.2	12.2	19.5	7.0	4.3	3.0	9.8	

a) ミ: (株) ミヨシグループ, タ:タキイ種苗(株)関東支店, FS:FSブルーム(株), サ: (株) サカタのタネ  
 b) 1 cm以上をカウント  
 c) 4 cm以上をカウント  
 d) 第64回東京都野菜・花き種苗改善審査会の結果 (2022年10月7日実施)

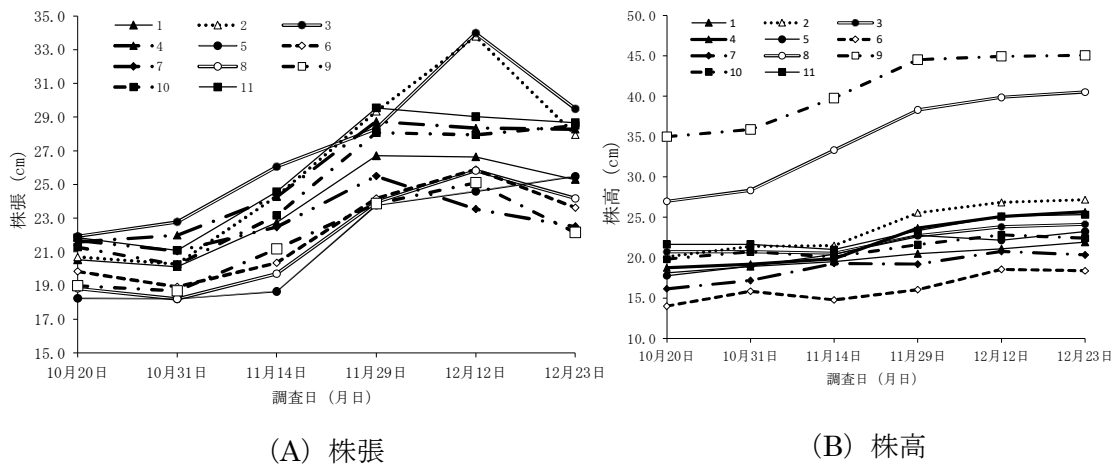


図1 露地定植後の生育の推移

表2 露地定植後の花数・花卉占有面積の推移および総合評価

品種	調査日						露地適性評価 <sup>b</sup>	総合評価 <sup>c</sup>
	10月20日	10月31日	11月14日	11月29日	12月12日	12月23日		
F <sub>1</sub> スナップショット イエロー	25 (37)	31 (31)	3 (15)	1 (2)	3 (6)	3 (6)	○	
F <sub>1</sub> スナップショット オレンジ	21 (28)	15 (16)	3 (5)	4 (6)	12 (10)	8 (14)	○	優
F <sub>1</sub> スナップショット パープル	16 (20)	16 (29)	15 (21)	9 (7)	16 (12)	6 (13)	○	
F <sub>1</sub> スナップショット ピンク	12 (17)	11 (12)	8 (13)	12 (15)	15 (14)	6 (15)	○	
F <sub>1</sub> パレット ブロンズ	26 (30)	15 (19)	1 (4)	3 (6)	8 (9)	7 (9)	△	
F <sub>1</sub> ポップアップ イエロー	24 (33)	27 (34)	1 (8)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	○	
F <sub>1</sub> ポップアップ スカーレット	5 (13)	22 (27)	20 (26)	1 (2)	0 (0)	1 (3)	○	
キャンディートップス ローズ	12 (12)	11 (12)	9 (11)	24 (16)	28 (18)	13 (17)	◎	優
スナップタスティック イエロー	7 (11)	11 (14)	8 (13)	14 (18)	27 (22)	23 (22)	◎	
スナップティーニ イエロー	28 (34)	27 (30)	2 (7)	3 (8)	7 (9)	6 (10)	○	優
スナップティーニ スカーレット	27 (27)	19 (21)	4 (8)	3 (4)	9 (10)	7 (13)	○	

注) 表中の数字は花数〔輪〕(花卉占有面積〔%〕)を表している。  
 a) 花数(輪): 各区4株調査, 占有面積(%): 40cm角に占める花卉占有面積の割合を, 画像処理ソフト ImageJ を用いて算出した。  
 b) 各調査日において, 開花数の合計が10輪未満の場合1点, 10輪以上~20輪未満の場合2点, 20輪以上~30輪未満の場合3点, 30輪以上の場合4点を付け, また花卉占有面積の割合が10%未満の場合1点, 10%以上~20%未満の場合2点, 20%以上~30%未満の場合3点, 30%以上の場合4点を付け合計点が25点以上は◎, 25点未満~20点以上は○, 20点未満は△とした。  
 c) 入賞かつ露地適性評価が○のものを優とした。開花数が1度でも0となった品種は優としない。